

第44号

GYODA CITY

スポーツ推進委員だより



- ・行田市スポーツ推進委員協議会
- ・広報部会長 吉沢 義和
- ・発刊日：令和 6年3月吉日



市民の皆様には、日頃スポーツ推進委員協議会の活動に対しまして、ご理解と、ご協力を頂き心より感謝申し上げます。

この度、「第44号 行田市スポーツ推進委員だより」を発刊する事となりました。

本号では、新型コロナウイルス感染症対策の規制が緩和され平常活動に戻った協力事業やスポーツ推進委員協議会の自主企画・研修会の様子を中心に掲載して有りますで、ご一読頂ければ幸いです。

次号以降もスポーツ推進委員27名のスポーツに対する取り組みや活動の様子を掲載してまいりますので、市民の皆様には心強い励ましと更なるご協力をお願い致します。

スポーツ推進委員協議会は、「思いやりと明るく楽しい活動」をモットーに全員一丸となり市民の皆様のスポーツニーズに应运て行ける様に取り組んでまいりますので、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

行田市スポーツ推進委員協議会 会長 玉木 民雄



第70回行田市市民体育祭

令和5年10月22日(日)

研修部会 茂手木 伸幸

コロナ禍を乗り越え、4年ぶりに市民体育祭が開催されました。五類に移行されたとはいえ、1000人規模で実施されることからコロナ対策を考慮しながら大会運営を行う難しい環境下での活動となりました。久しぶりに活気あふれる市民の皆様と協力して活動ができた事に喜びを感じました。

担当した用具係には、未経験の協力役員の方が多く、事前の打ち合わせに時間をかけながら進めていきました。競技進行時間に遅れが生じることもありましたが、大きな問題が起きることなく閉会することができました。

用具係として、段取りを間違える場面もあり、課題を残す結果となってしまいました。次の機会に活かせるよう整理し、次回に臨みたいと思います。



'23彩の国実業団駅伝大会

令和5年11月3日(金・祝)



広報部会 吉沢 義和

当日は埼玉県庁から熊谷スポーツ公園までの7区間で行われました。私たちスポーツ推進委員は第3中継所の行田駅周辺沿道のコース整理員として、大会のスムーズな進行と選手、歩行者、一般車両や観戦者の安全確保を任務としました。

当日は国道17号を全面通行止の交通規制が行われ、目的の地までの迂回路の案内や交通規制の時間帯などの説明など丁寧な対応が求められ、地元警察署と協力しながら任務の遂行に努めました。特にトラブルもなく無事に駅伝大会は終了しました。

4月に行われる行田市鉄剣マラソン大会は3000人規模で行われます。沿道整理に携わる身として今回の経験を活かし、参加選手や近隣住民の安全確保とスムーズな大会運営が行えるようにスポーツ推進委員、関係協力役員との連携を密に進めていけたらと思います。

障がい者(児)スポーツ・レクリエーション大会

令和5年11月18日(土)

研修部会 川端 美夏

今回、私は視覚障害を持つ方の競技であるサウンドテーブルテニスを担当しました。音だけを頼りにしているとは思えない程機敏で力強いプレーに大変驚かされました。参加者の皆さんから「他の種目もやってみたい!」との声を受け、フロアアクリング、フライングディスク、ボッチャ等にも挑戦していただきました。どの種目においても、耳を澄まし、方向や距離を的確に判断する技術は素晴らしいものがありました。4年ぶりの今大会も、たくさん笑顔が溢れていました。

世の中には、スポーツやレクリエーションを楽しむ機会を持っていない方が多くいます。全ての人々に、スポーツを通して充実した日々を送っていただく為のサポートが出来るよう努めていくことが、スポーツ推進委員に求められるものであると感じました。



"浮き城のまち行田" 駅伝大会

令和5年12月3日(日)

駅伝大会



指導部会 堀口 和彦

本大会は、市民スポーツ活動への関心の高まりと競争志向に対応し、健脚を競う場を設けるとともに競技力の向上と競技スポーツの振興を図るという趣旨のもと、行われました。全90チームが参加し、大人から小学生までそれぞれのチームメイトと5区間で櫂をつなぎ、熱いレースが繰り広げられました。

スポーツ推進委員も大会運営のサポート役として、受付・走路観察・選手招集・中継所整理等の役割を担い、協力役員と連携しながらスムーズに実施できたことと思います。

私は救護係としてAEDを担当し、最後尾ランナーの後を周回する担当でした。前回の反省を踏まえて実施した為、担当任務としては問題なく行われ、AEDを使用することなく、無事に終われたことが何よりです。

ヘルスバレーボール 研修会

令和5年12月10日(日)

広報部会 村瀬 博宣

各地区体育協会参加による、ヘルスバレーボール講習会が初めて行われました。

これまで、スポーツ推進委員の中でのみ講習や練習等を行ってきたので、ヘルスバレーボールをやったことがない一般の方々にいかに解りやすく、楽しく行えるスポーツであることを念頭に、講習会を行いました。

当日は、スポーツ推進員との交流もでき、何より講習会参加者が楽しそうだったので、良かったと思います。反省点として、審判レベルの統一が出来てなかった点と、デモンストレーションにおいて、スパイク等レベルの高いプレーも見せることが出来ればいいのかと思いました。

今後、これらを踏まえて、行田市でヘルスバレーボールの大会開催に向けて頑張っていきたいと思います。



市民ウォーキング 踏査

令和5年12月17日(日)



指導部会 須永 昌幸

千葉県成田市新勝寺及び市内ウォーキング踏査を指導部会、研修部会の合同で行いました。現地に着き先ずは、ウォーキング。季節は12月でしたが、天候にも恵まれ成田山新勝寺をスタートし境内、市内、成田駅、表参道、ゴールはスタート地点の成田山新勝寺の約8kmのウォーキングをしました。

昼食後は、宿泊研修の踏査で宿泊先の見学、成田空港へ移動しあまり見ることのない飛行機の離着陸や空港内の見学を行いました。飛行機への魅力を感じることが出来ました。帰路で牛久シャトーに寄り充実したふれあいウォーキング踏査を行うことができました。

この踏査を、今後のふれあいウォーキングに活かしていきたいと思います。

新春ウォーキング

令和6年1月14日(日)

指導部会 新井 徹

新年最初の行事である「新春ウォーキング」にて、「陸王杯鉄剣マラソン大会」に向けて踏査を行いました。前回大会での危険箇所、5kmスタート直後の混雑箇所、毎年課題となる路面状態を中心に約11kmのコースを実際に歩き、選手の安全を確保するために、ランナー目線で新たな危険箇所や状況の変化を確認しました。ウォーキング終了後、古代蓮会館にて各委員がそれぞれに感じた意見を出し合い、参加者全員で問題点を共有し、スポーツ推進委員としての対応・対策を協議しました。

4月の大会開催に向け準備を重ね、当日は大会役員の皆さんとの連携を図り、安全かつ円滑な大会運営に努め、参加者全員に満足していただき、更に次の大会に繋げていけるよう万全な体制で取り組みたいと思います。



第32回行田市縄跳び大会

令和6年1月27日(土)



研修部会 青木 文男

今大会の児童参加者は、67名となり一昨年前に行われた前大会よりも縮小された形にて行われました。スポーツ推進委員の役割は、司会進行役ということで、大会がつながることを念頭に置きながら務めておりました。

昨年は、新型コロナウイルスの影響により、開催できませんでしたでしたが、今年は何とか開催することができ、児童が練習してきた事を試す機会が作られたことについて、大変よかったと思いました。また、縮小された大会ながらも新記録が2種目生まれたことについては、児童に対し敬意を表したいと思います。

全体的には例年とは違った要領で、行われた競技もありましたが、児童・保護者共に楽しい有意義な時間を過ごせた大会になったと思います。

埼玉県駅伝

令和6年2月4日(日)

研修部会 篠崎 貴枝子

当日は天気にも恵まれ、男女合わせて96チームが参加し、熊谷スポーツ文化公園を目指して選手が力走しました。

20名のスポーツ推進委員はコース整理員としてコースとなる17号荻里山交差点周辺及び行田駅周辺の一般車両の通過や歩行者の誘導を行いました。選手通過5分前にコース上に交通規制のカラーコーンを設置、担当場所へ向かいます。

交差点が中継所から離れていた為、観衆の姿がなく、歩行者も少なかつたように感じます。例年、車両通過と同時に人も横断させていましたが、今年は警察官の指示で人と自転車に歩道橋の利用をお願いしました。ありがたいことに皆さん嫌な顔をせずに協力してくださいました。

役割を果たす為には任務内容をしっかりと理解した上で臨むという基本姿勢及び関係者とコミュニケーションをとる重要性を再認識しました。



埼玉県スポーツ推進委員協議会 第3回研修会

令和6年2月17日(土)



指導部会 松本 健治

県内各地から112名のスポーツ推進委員が参加し、所沢市民体育館で開催されました。行田市からは玉木会長をはじめ6名の参加となりました。

午前中は、西内一夫皆伝師範を講師に迎え、「護身術 短刀捕り」の実技研修が行われました。午後からはワイルドビーストの古寺浩二代表の指導の下、各コートに分かれ「ラケットテニス」の実技研修が行われました。今回初めて体験したスポーツで大変興味深く、有意義な一日となりました。

県内のスポーツ推進委員が介する県の研修会は、委員間の情報交換・交流の場として重要だと実感しました。今後は、自身のスキルアップのためにもより多くの研修会等に積極的に参加したいと考えています。

また、本研修会で得られた成果を少しでも今後の活動に活かされたいと思います。

第1回北埼玉地区

ヘルスパレーボール

レクリエーション交流大会

令和6年2月18日(日)

研修部会 松田 芳明

行田市・加須市・羽生市から、24チーム総勢166名の参加で行われました。試合は、ブロック別総当たり戦、ブロック毎に順位を競う形で行いました。

交流大会は、フロアカリニングを長年実施していましたが、二コースポーツとして、ヘルスパレーボールを検討し、行田市スポーツ推進委員が中心となり、ヘルスパレーボール発祥の流山市とも交流を図り、審判技術など習得し、交流大会開催の運びとなりました。大会開催までは、思うような活動ができな時期もあり、大会が開催出来たことに非常に感動を覚えました。

今回の大会での反省や気づき・課題を次年度に生かし、継続した大会となるよう定着に向け今後も取り組んでいきます。



宿泊研修

令和6年3月9・10日(土・日)



指導部会 加藤 浩之

今期最後の事業である宿泊研修が成田市ウォーキングとして実施されました。当日は天候にも恵まれ、推進委員21名が参加、成田山を目指しました。成田山新勝寺を出発点に成田市内をウォーキング、来期予定されている市民ウォーキングの踏査を兼ねて実施しました。

昼食時には、踏査実施後の問題点を話し合い、昼食の蕎麦・うどんを美味しく頂きました。昼食後は成田空港へ。飛行機の離発着が見える第1ターミナルビル展望デッキを見学、自由行動。宿泊先では、今期実施事業のスライド映像を見ながら活動の振り返りをしました。

2日目は牛スシヤトーの見学を行い帰路に着きました。指導部会・研修部会・広報部会が力を合わせ今期最後の思い出に残る研修会になりました。

■ ペーパーレス化に向けての取り組み ■

行田市教育委員会のペーパーレス化モデル部署としてスポーツ推進委員協議会が選定されました。簡単では有りますが、その内容を下記に紹介致します。

【目的】

各委員がいつでも・どこでも確認できる体制を作ること、会議当日のスムーズな進行、ニュースポーツの研究、各部会活動に時間を確保する。

【対象資料】

1. 定例会資料
2. 各種連絡資料

【効果】

1. 情報の共有化
2. スピーディな情報伝達
3. 事務局作業の工数削減
4. 経費削減（・郵送費・印刷費用等々）
5. データ化による管理工数と管理スペースの削減

【今後の課題】

1. 正副会長会議資料のペーパーレス化
2. ペーパーレス化に向けた効率的な資料作成方法の検討
3. ペーパーレス化の水平展開

令和5年度 行田市スポーツ推進委員協議会 3月定例会次第

日 時 令和5年3月6日(水)
午後7時00分～
場 所 行田市総合体育館 研修室
(進行：行田地区)

市民鑑賞 曜和

- 1 開会 伊藤副会長
- 2 あいさつ 玉木会長
- 3 部会報告
- 4 議題

- (1) 報告 埼玉県スポーツ推進委員協議会第3回研修会P1(松本副会長)
- (2) 報告 第1回北埼玉地区ヘルスパレーボールレクリエーション交流大会 P2～6(金子(裕)委員)
- (3) 報告 第5回北埼玉地区スポーツ推進委員連絡協議会研修委員会 P7～11(浅井委員)
- (4) 宿泊研修について P12～14(須永委員・森田委員)
- (5) 埼玉杯第38回行田市鉄剣マラソン大会前日準備及び当日について P15(玉木会長)
- (6) 第4号スポーツ推進委員だよりの発行について P16(玉木会長)
- (7) 「令和5年度行田市スポーツ推進委員活動記録」の作成及び最終執筆について P17～19(玉木会長)



(谷部委員、柴田委員、青木委員)

行田市永年勤続賞受賞

◇編集後記◇

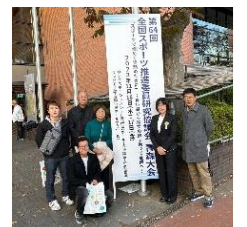
構想から10年、第1回ヘルスパレー大会が開催され、紙面でもご紹介することができました。開催に向け、審判資格の取得、発祥の地での大会参加した記憶が蘇ってきました。大会終了後の参加者の笑顔がとても印象に残っています。

広報部会一同

問い合わせ

行田市スポーツ推進委員協議会事務局
行田市教育委員会
教育部生涯学習スポーツ課
TEL 556-8336

行田市スポーツ推進委員協議会
広報部会 一同



(伊藤副会長)

全国功労賞受賞